

2014年 新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、昨年は市政各般に対しまして、皆様の温かいご支援とご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、徳島県より7月末に発表されました南海トラフ巨大地震に伴う第一次被害想定では、最悪の場合には小松島市では死傷者が最大5,000人、建物全壊棟数は12,400棟と甚大な被害が想定されており、行政におきましては、防災・減災対策は喫緊の課題となっております。

このような状況を踏まえ、小松島市では、まずは市内小・中学校の耐震化を行い、校舎については2016年に統合予定であります立江・坂野中学校を除き耐震補強を完了し、体育館についても今年度末には完了予定としております。また雨水対策として、最大クラスの地震・津波にも対応し、緊急一時避難場所を兼ね備えた金磯南雨水ポンプ場を9月より供用を開始しております。

今後も持続可能な行財政基盤のもと、市民が夢を持てる、住んでよかった小松島をめざして、「まちづくり」「ものづくり」「ひとづくり」を目標と致しまして、職員が一丸となり引き続き行財政改革への取り組みを推進しながらも、防災・減災対策等の緊急性・重要性が高いものから計画的に事業を実施するなど「集中と選択」により、様々な政策案件への対応を着実に進める必要があると考えております。

新年を迎え、小松島の明るい未来に向けて全身全霊、邁進してまいりたいと決意を新たにしているところでございますので、市民の皆様には、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、ご健康で幸多き素晴らしい1年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

南部地域統合新中学校

基本設計がまとまりました

校舎・体育館一体型の校舎(5階建て)を建設



市では、小松島市学校再編計画(平成24年策定)に則り、立江・坂野両中学校を統合する新中学校の建設事業を進めておりますが、このたび、基本設計(基本構造、位置、部屋割りなど)がまとまりました。(上図参照)

統合新中学校は校舎・体育館一体型の5階建てで、1階に配置する部屋を最少化することなど、津波浸水

平成28年4月開校をめざし、本年夏頃の着工を予定しておりますので、ご理解・ご協力をよろしく願います。

●建物概要

【構造】鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造

【規模】地上5階(地下なし)

【面積】

| | |
|-----|---------|
| 校舎 | 約5,000㎡ |
| 体育館 | 約1,180㎡ |
| その他 | 約1,560㎡ |